

93 モーイ親方(リ)

(煙草は一回)

「煙草なんか吸ったら大変よ」と言うたから、お父さんがそんなに言うから、一服だけ吸わないといけない。煙草、少しずつでしょうね。キザミ(刻みたばこ)であつたと。キザミであつたから一回しか受けんかった。いくら入れたかもわからないがね、これだけいった、これだけいったはわからないが、これだけ入る皿ぐわーがあつたでしょう。煙管、あれに入れたはずだからね、これだけ入った、これだけ入ったってわからないさ。だから、お父さんが、あんまり煙草を吸わないでおけと言ったから、一回で。

こんなたくさん吸つて、こつちの家がゴキバー(煙がもうもうと立ちこめること)してね、この人はね、伊野波^{ぬは}モーイというがね、たくさん煙が立つてゐるわけさ、この家に。世間の人がね、こつちは伊野波^{ぬは}殿内^{どうんち}といいよつたわけさ。伊野波殿内。伊野波モーイというから。伊野波殿内は火事だとみんな集まつたから、

お父さんがね、煙草を一回にもうたくさん入れて、煙がいつぱいになって、その部落の人が、

「火事になつてゐる、火事になつてゐる」と。お父さんがね、煙草をあんまり吹いてはいかないよと言つたから、お父さんが言いつけてあつたのでこんなことがあつたつて。

字山城 新屋タカ

類話

字北波平 大城清助

字豊原 国吉マツ

字真栄里 島袋仁栄

字糸洲 神里カマ